

令和2年度ポリファーマシー研修会 次第

日時：令和2年11月14日（土）14時30分～16時30分

場所：アクロス福岡 イベントホール（福岡市中央区天神1丁目1番1号）

共催：福岡県保健医療介護部薬務課・公益社団法人福岡県薬剤師会

後援：公益社団法人福岡県医師会

1 開会挨拶

2 講演内容

「ポリファーマシー対応～症例を通して考える～」

講演1 医療法人白髭内科医院 院長 白髭 豊 氏

「診療所外来、在宅医療でのポリファーマシー対策」

講演2 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター薬剤部 溝神 文博 氏

「多職種協働で行うポリファーマシー適正化」

3 閉会挨拶

(参考) 今年度のポリファーマシー研修会について

～昨年度（令和元年9月6日）開催のアンケート結果～

- 多職種向けの研修会を意図していたが、参加者のほとんどは薬剤師（薬局・病院）だったと考えられる。来年度は薬剤師だけでなくその他の医療従事者も多く参加できる工夫をする必要がある。
- 各講演に対する意見として、“最新の情報が得られてよかった”や、“具体例があつてよかった”等の意見が多かつたため、一般論よりもより具体的な事例について多く取り上げたものがよいと考える。
- また、今後取り上げてほしいテーマについても、具体的な改善例や取り組み例（具体的な処方についてや、多職種連携などのシステムの具体的な事例について）を取り上げてほしいという意見が多数あつた。また、医師のポリファーマシーに対する考えについて知りたい薬剤師も多く、医師・薬剤師その他医薬関係者のそれぞれの立場からの意見を共有できるものがよいと考える。
- 勤務している職場におけるポリファーマシーに関する取り組み状況については、医師・薬剤師の認識不足・知識不足のため取り組む必要はあるが取り組めていないケースがあることがわかつた。また、医師に提案しにくいからという意見もあつた。これらについても、より具体的な事例や立場ごとの考えの共有ができれば、よりポリファーマシーに関する取り組みが進んでいくものと考えられる。

以上から、今年度は以下の要素をできるだけ満たす研修の実施を検討した。

- 医師・薬剤師等の多職種が参加できる
- 具体例（症例や連携）を多く取り上げる
- 様々な立場からみたポリファーマシーに対する考え方の共有